

グランプリ

群馬県下水道管路災害時対応訓練

～下水道管理者・消防機関・管路管理業協会が連携した「人命を守る群馬モデル」～

群馬県・伊勢崎市消防本部・（公社）日本下水道管路管理業協会関東支部群馬県部会

受賞事例の概要

- 埼玉県八潮市の道路陥没事故を踏まえ、迅速な人命救助の重要性を再認識
- 下水道管理者（県、市町村）・消防機関・管路管理業協会の三者連携が不可欠



大規模地震による道路陥没事故を想定した訓練を三者連携で実施

実施日：令和7年11月4日

場 所：群馬県伊勢崎市境平塚地内
（流域下水道幹線管渠）

訓練者：下水道管理者（県、市町村）、消防機関、管路管理業協会
（見学者含め 100 名以上）

内 容：復旧支援要請の机上訓練、
管路破損個所の調査、マンホール内での人命救助等



管路点検



管路内の損傷箇所調査



消防隊による人命救助活動



消防機関の要請を受け、管路管理業協会が強力吸引車による排水作業を実施



マンホール内で倒れた作業員を救助隊員が吊り上げ救助



救急隊により負傷者を病院へ搬送

- ・大規模災害時の復旧支援要請に備え、被災箇所の復旧に向けた優先順位を決めるルールを策定・共有しました。これにより、発災直後の判断の迷いを解消し、関係者が共通認識のもとで迅速に行動できる体制を構築することで、災害対応力の向上を図りました。
- ・これまで曖昧だった下水道管理者、消防機関及び管路管理業協会の三者間における連絡体制を新たに整備・共有するとともに、それぞれの役割を明確化した実動訓練を実施しました。これにより、消防機関による救助活動と、管路管理業協会による技術支援との効果的な連携を確認し、管路内における人命救助体制の強化を図りました。

特徴①

下水道管理者、消防機関及び管路管理業協会の連絡体制を構築

・下水道管等の損傷や多量の下水により、消防機関の人命救助活動に支障が生じる場合、消防機関が管路管理業協会へ排水作業を要請できる連絡体制を構築し、訓練を実施



特徴②

復旧支援要請箇所の優先順位を決めるルールを定め、関係者間で共有

・県は、県内の被災箇所の状況等を踏まえた復旧優先順位を整理し、管路管理業協会へ支援を要請

【順位決定ルール】

①急所施設、重要施設 → ②車道・緊急輸送路 → ③迂回路なし → ……



支援要請訓練を実施

特徴③

YouTubeで訓練のライブ映像を配信

・訓練に直接参加できない関係者に向けて、YouTubeライブ配信を実施
・テレビ放送や新聞報道を通じて訓練の様子が紹介され、県民へ安心・安全をPR



マスコミ取材状況



訓練の様子を
YouTubeライブ配信



テレビで放送



新聞に掲載

取組の効果！

- ① 下水道管理者、消防機関及び管路管理業協会の連携強化、**人命救助等の円滑化**
- ② 支援要請箇所の優先順位を決めるルールを定め、**支援要請を効率化**
- ③ 訓練ライブ映像の配信や報道機関を通じ、**県民に安心・安全の情報を発信**

Key Person



県土整備部 下水環境課
副主幹 船木 明日香

事故を未然に防ぐことはもちろん、万が一の際に人命を守るための備えも重要です。その認識のもと、関係機関が連携した実践的な訓練を企画・実施し、現場対応力の向上に取り組みました。

これまで十分な接点がなかった関係者同士が一体となり、顔の見える関係を築けたことは、本取組の最大の成果です。災害時の対応力向上はもちろん、県民の安心・安全を支える連携の礎を築くことができました。



県土整備部 下水環境課
計画係長 小林 一夫